

Forward to 1985 energy life 全国省エネミーティングとは

(一社)Forward to 1985 energy lifeが2011年より開催している、家庭部門での省エネルギー手法を普及するためのイベントです。「家庭部門の省エネルギー手法」は、各家庭で行われるアクションが主体ではありますが、それを喚起し、手助けする動きもとても重要です。

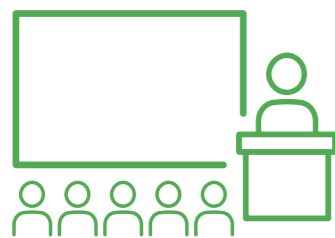
そのため、近年は省エネルギー手法の普及に留まらず、行政や民間団体の皆さんにもご参加頂き、地域全体で省エネ・カーボンニュートラルを実現する方法を模索する場となっています。

本ミーティングでは、“家”という生活の器をつくる役割を果たす地域の工務店や設計事務所の活動、そして、そんな住宅建築実務者と行政がタッグを組んで行う活動の事例紹介や、今後の活動に向けての意見交換も行います。これから益々温暖化対策や省エネルギーへの取り組みが必要になってくる時代、様々な立場の人が、それぞれにできることを見つけれられる場となれば幸いです。



申込方法

会場参加の方



右のQRコードの申込フォームよりお申し込みをお願いします。折り返し受付票がメールにて届きますので、当日はプリントアウトして会場へお持ち下さい。

※オンライン視聴ご希望の方も右のQRコードよりお申し込みをお願いします。開催前日までに視聴頂くための情報をメールにてお送りします。当日はご自宅や事務所からご視聴ください。

申込はこちらから



主催 一般社団法人Forward to 1985 energy life
TEL 0977-77-1717

共催 EPOちゅうごく

後援 環境省中国四国地方環境事務所(予定)
広島県、岡山県、鳥取県、島根県、廿日市市
脱温暖化センターひろしま(一般財団法人 広島県環境保健協会)
公益社団法人広島県建築士会
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
一般社団法人広島県工務店協会

協賛 (株)ザメディアジョン、高千穂シラス(株)、ユダ木工(株)
(株)LIXIL、リンナイ(株)、YKK AP(株)
(株)日本住宅保証検査機構、(株)デコス、StoJapan(株)
(株)エヌ・シー・エヌ、オスモ&エーデル(株)

ダイキンHVACソリューション中四国(株)
(一社)建物評価研究機構、新日本建設(株)
出雲建設(株)、(株)スガノ、(株)クラタクリエイト
ENEOSグローバルエナジー(株)岩国支店、渡辺パイプ(株)
(株)nojimoku、プレイリーホームズ(株)



会場 広島県民文化センター 多目的ホール
広島県広島市中区大手町1-5-3

会場へは公共交通機関でお越しください



Forward to 1985 energy life

第12回 全国省エネミーティングinひろしま

官民協働
元年!

住宅省エネ化から 2050年カーボンニュートラルを目指そう

北海道、長野、鳥取の先進事例とそこで見えてきた課題から学ぶ

日時

2024年11月12日(火)

13:00~17:00(12:15 開場)

会場

広島県民文化センター 多目的ホール
広島県広島市中区大手町1-5-3

交通 広島駅からバス、広島電鉄で約15分
広島バスセンターから徒歩約3分
広島電鉄「紙屋町西」電停から徒歩約2分

住宅の省エネ義務化を来年に控えていますが、省エネの取り組みには温度差があるのが現状です。そんな中、国の基準より先行し、積極的な省エネ施策を行っている自治体があります。

今回の全国省エネミーティングでは、北海道、長野・横浜、鳥取で、先進的な取り組みをされているキーマンにご登壇いただき、その地域での取り組みの実績や課題を共有し、広島、中国エリアでカーボンニュートラルに向けて、何ができるのかを議論します。

学生、市民、行政担当者、環境団体、金融機関、住宅建築に関わる方、どなたでも参加可能です。

参加費
無料

プログラム

13:00~13:30

開会宣言

Forward to1985energy lifeについて
辻 裕介((一社)Forward to1985energy life 代表理事)

13:30~14:00

基調講演①

北海道の取り組みについて
山本亜耕様((株)山本亜耕建築設計事務所 代表)

14:00~14:30

基調講演②

長野・横浜の取り組みについて
田中信一郎様(千葉商科大学基盤教育機構 准教授)

14:30~15:00

基調講演③

鳥取県の取り組みについて
槇原章二様(鳥取県庁生活環境部くらしの安心局住まいまちづくり課)

15:00~15:20

休憩

15:20~16:45

パネルディスカッション

ひろしまで住宅の省エネ化から2050年カーボンニュートラルを実現するには

16:45~16:55

ひろしま2024宣言 全国ミーティング2025の案内

16:55~17:00

閉会挨拶

情報交換会(別会場・参加費無料)

懇親会(別会場・参加費有料)

参加を希望される場合は、申込フォームにご記入をお願いします。
詳細決まり次第メールにてご連絡します。



基調講演 登壇者

ご登壇者の方に、各地域における行政・金融機関・建築事業者の一体となった取り組みをご紹介いただき、それぞれの立場(行政や建築事業者)から、制度整備または運用時にどのような課題があり、それをどう乗り越えられたかをお話いただきます。

北海道の取り組みについて

北海道で環境建築家として、多くの高性能住宅の新築やリノベーションを手掛ける。北海道の官民一体となった省エネ制度にも精通しており、北海道の知見を惜しみなく、本州の建築実務者に伝える研修なども行っている。



山本亜耕建築設計事務所
代表
山本 亜耕様

長野・横浜の取り組みについて

横浜市や長野県などの自治体職員として、環境エネルギー政策を実践してきた政策づくりのスペシャリスト。その経験を活かして、現在では全国の自治体にそのノウハウを提供するコンサルタント事業に取り組んでいる。



千葉商科大学
基盤教育機構
准教授
田中 信一郎様

鳥取県の取り組みについて

県の職員という立場から、「とっとり健康省エネ住宅性能基準」NE-ST制度の整備に貢献。また、新築住宅だけでなく、既存住宅改修、公営住宅などの省エネ化などにも取り組んでいる。



鳥取県庁生活環境部
くらしの安心局
住まいまちづくり課
槇原 章二様

パネルディスカッション

会場からの質問を登壇者の皆様に答えていただきながら、広島県で省エネを推進していくためにはどのような課題があり、それをどのように乗り越えるべきかを整理していきます。ご来場いただいた皆様からも、たくさんのご質問をお待ちしております。

※当日、会場には広島県住宅課、各市町村の環境対策課、広島県工務店協会、金融機関などをお招きし、各代表からご質問をいただく予定です。

Facebook Live

基調講演ご登壇者の方と同大会の実行委員会委員長 川端順也による
事前ディスカッションを配信いたします。

5月27日(月)、7月29日(月)、9月30日(月) 18:00~

過去のアーカイブはYouTubeからご覧いただけます。

Facebook
Liveは
コチラから



You Tube
アーカイブは
コチラから



Forward to 1985 energy life 『1985アクション』とは

1985年頃から2倍に増えている家庭で使用する電気消費量と合計エネルギー消費量を、ともに今の半分(1985年レベル)にしようとする国民運動です。
一般生活者の方への情報提供、住宅建築実務者の方への専門的なセミナーの開催、行政の方との連携、書籍の出版、イベントの開催等を通して、「小さなエネルギーで豊かに暮らせる社会」の実現を目指しています。
我慢ではなく、楽しく、かしく実行しながら、この目標を2030年頃までに達成する。
これが1985アクションの目標です。